

第3学年 総合的な学習の時間「きららタイム」学習指導案

日 時 平成24年11月16日(金) 5校時
学 級 3年A組(男子12名 女子21名 計33名)
指導者 教諭 小澤 園子

1 単元名 「考えよう自分の進む道」～胆沢の職場を通して～

2 単元観

本校では、今年度の総合的な学習の時間において、各学年が「胆沢に生きる」という主題のもと、「胆沢の産業(1学年)」「奥州の職場(見学;2学年)」を経て、「胆沢の職場(体験;3学年)」というテーマのつながりをもって進められている。

その中で3学年は、2学年の学年主題「奥州地区の職場見学を通じ、望ましい職業観を育て、学び方やものの考え方を身に付けさせる」から、地域により焦点をあて、学年主題を「地域への理解を深めるとともに職業体験を通して望ましい職業観を育て、自己の向上を図る姿勢を育てる」とした。ここから「考えよう 自分の進む道Ⅱ」を単元に設定し、学習を進めてきた。この学習を通して、若中生のルーツである胆沢の未来や課題について深く考え、中学校の「総合的な学習の時間」の総仕上げにすると同時に、3年生としてそれぞれの進路選択に向け、自己をみつめる機会としたい。

3 生徒観

本校の3学年は、1学年で地域の福祉活動について体験的な学習を行い、2学年では奥州市内での職場見学学習を行った。各自の興味・関心に基づいてグループをつくり、グループテーマや個人テーマを設定して活動を進めた。その中で、テーマに従って計画を立て、主体的に活動に取り組む姿勢は身についてきた。しかし一方で、テーマについて深く考察し、自分たちの行動を客観視しながら取り組む力や、自分の思いや願いを言葉として表現する力は不足している。このため、1・2学年の総合的な学習の時間を通して培った調査活動の力を生かして、職業について調査・訪問活動を行うことにより、進路への意識を高め、望ましい職業観について明らかにしていくとともに、生まれ育った地域への愛着についても考えさせたい。また一連の流れの中で、仲間と討論をしながらより良いものを作り上げようとする態度や、自ら学び、自己の向上を図る姿勢を身に付けさせていきたい。

4 指導観

「総合的な学習の時間」では、生徒自らテーマを考え、追究、まとめていくという考えから、個人テーマと同時にグループテーマを設定し、9月末に行われた職場体験学習と、それに向けた調査活動によってテーマに迫るよう学習を進めた。体験終了後は、まずグループとしてのまとめをし、その中で体験した職業を通して地域の課題や未来について考え、個人テーマのまとめをする予定である。将来、地域(胆沢区に限らず)で暮らして働きたいという生徒もいれば、より広い世界に出てみたいという生徒もいるように、考え方や価値観は様々である。その中で、将来にわたって関わり続ける『胆沢』についての思いや願いを踏まえながら、一人ひとりに望ましい職業観や目指す生き方を考えさせたい。

本時は、職業体験後のまとめとして、さまざまな職業についての理解を深めつつ、自分の将来や生き方について考えるという探究的な活動を行いたい。また、グループで行う共同的な学びの場面を設定することにより、多様な考え方をもつ他者とかかわることを通じて、より自己の考えや意識を深めていく態度や能力の形成を促したいと考えている。

5 単元の指導計画(別添)

6 単元の指導目標

- ・ 地元での職場体験を通じて望ましい職業観を育てるとともに、自分自身の将来や地域社会の課題を見つけ解決しようとする力を育てる。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 職場体験先の異なるグループの学びをもとに意見交流を行い、「働く上で自分が大切にしたいこと」について深く考えることができる。
- ・ 「働く上で自分が大切にしたいこと」について自分の言葉でまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

育てたい資質や能力・態度	評価場面と方法	生徒の学習の姿
Ⅲ【人間関係形成の力】 ② 異なる意見や他者の考えを受け入れ、自分の考えを広めたり深めたりしている。	■ 「働く上で自分が大切にしたいこと」について、グループでの意見交流で考えを深め、ワークシートに記入している。(ワークシート)	・「働く上で自分が大切にしたいこと」について、グループでの意見交流をもとに自分の考えを深め、文章に表現している。

(3) 言語活動について

- 「働く上で大切にしたいこと」についてグループで意見交流をする。
- 意見交流をもとに、自分の考えをワークシートに記入する。
- 自分の考えを発表する。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点(評価 ■)
導入 5分	1 前時の振り返り 2 学習課題の確認	・ここまでの学習を振り返る。 ・学習課題を示し、本時の学習内容の見通しをもつ。	・職場訪問先ごとのグループ ・学習課題から、本時の見通しをもっているか確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「働く上で自分が大切にしたいこと」についてまとめよう。 </div>			
展開 40分	3 資料の収集 4 グループでの意見交流 5 個人のまとめ 6 まとめの発表	・まとめポスターから働く上で自分が大切にしたいことについて資料を集める。 ・理由についてグループ内で意見交流をする。 ・学習課題について、各自の考えをまとめる。 ・まとめについて発表する。	・個人テーマとの関連を意識させる。 ・選んだ背景にある各自の思いを意識させる ■ 「書く」作業を通して、各自の考えを明らかにできたか。(Ⅲ-②) ・わかりやすい発表を心がけさせる。
終末 5分	7 本時のまとめ	・本時のまとめと次時の学習内容について確認する。	・今後の活動へのつながりと見通しをもたせる。

『本校の付けさせたい力』

I【問題解決の力】	II【自己を表現する力】	III【人間関係形成の力】	IV【自己を振り返る力】
自ら考え、集めた情報をまとめ・分析することにより、よりよく問題を解決しようとする力	自分の考えをもち、相手意識をもって効果的に表現する力	相手の意見や考えを取り入れ、より良い発想や柔軟な考えにつなげる力	他者との関わりから自分の意見をもち、次につなげる力
①日常生活や社会の中の問題に気付き、自分で取り組むべき課題を見つけることができる。 ②解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。 ③必要な情報を収集・選択することができる。 ④集めた情報を整理・分析することができる。 ⑤課題解決を目指し、見直しをもって主体的に学習を進めることができる。	①課題の解決に向けて自分の考えをもつことができる。 ②目的に応じて、わかりやすくまとめることができる。 ③わかりやすい発表を意識して、発表方法を工夫することができる。 ④話し合い活動などで自分の意見を伝えることができる。	①相手の考えを尊重して聞くことができる。 ②異なる意見や他者の考えを受け入れ、自分の考えを広めたり深めたりすることができる。 ③他の生徒と協力して活動することができる。 ④人とのつながりの大切さを理解し、よりよい人間関係をつくることできる。	①自分をよく知り、自己の伸長を図ることができる。 ②社会や身近な人のために、自分ができていることを考え行動することができる。 ③自分の将来や進路について考えることができる。 ④これまでの学習から、さらに新しい課題を見出すことができる。

3学年 単元名「考えよう自分の進む道Ⅱ」～胆沢の職場を通して～												全学年共通 18h																						
目 標 地元での職場体験を通じて望ましい職業観を育てるとともに、自分自身の将来や地域社会の課題を見つけ解決しようとする力を育てる。												・若柳の郷土芸能 (6h)																						
												・郷土を教材とした創作発表 (9h)																						
												・生き方講演会 (3h)																						
4月	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月						
1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
【課題の設定】8h				【情報の収集】20h 職場体験 9月26日27日												【整理・分析】14h						【まとめ・表現】10h						計 52h						

学習の流れ	【課題の設定】8h	評価規準と評価方法	【情報の収集】20h	評価規準と評価方法	【整理・分析】14h	評価規準と評価方法	【まとめ・表現】10h	評価規準と評価方法
	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標と学習の流れを理解する。 1h 胆沢について学習する。 1h 胆沢の職業について知っていることを整理する。 3h 学習課題を設定し、課題ごとのグループをつくる。 3h 	I-① 観察 I-①② 学習シート I-④ 学習シート II-①④ III-① 観察	<ul style="list-style-type: none"> まとめ方や発表方法を学習する。 1h 職場体験に向けて仮説と質問を考える。 3h 質問の整理をする。 2h 訪問のマナーを確認する。 1h 訪問先に連絡をとる。 1h 胆沢区での職場体験を行う。 12h 	II-① 学習シート II-①④ 学習シート II-② III-② 学習シート III-③④ 学習シート I-③ III-④ 観察 I-③ III-②③ 観察 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容を整理する。 2h 伝えたい内容をまとめる。 3h まとめポスターを作成する。 5h 職場体験発表会を行う。(グループ) 2h <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 職場体験学習会から個人課題を考察する。 本時(2/2) </div>	I-④⑤ 観察 II-②④ 観察 学習シート I-④ III-③ パフォーマンス評価 II-③④ IV-③ 相互評価 III-② IV-④ 観察 学習シート	<ul style="list-style-type: none"> 個人テーマについてまとめ、資料を作成する。 6h 個人テーマ発表会を行う。 3h 学習を振り返り、学んだことを整理する。 1h 	II-①② III-③④ IV-①③ 学習シート II-③④ IV-③ 相互評価 IV-①②③④ 学習シート
ねらいと指導のポイント	胆沢の職業について学習することにより、地域や自分の進路に関心と課題意識をもつことができる。 ・単元の見直しをもつ。 ・自ら進んで考えることができるよう支援する。 ・職種についての多様性を把握させる。 ・必要な情報をつかむ中で、課題を設定する。 ・課題は目標に迫るものにする。 ・課題に基づき、的確に仮説を立てる。 ・地域に根ざした職種への関心を高める。		職場体験学習を通して課題解決に向けた情報収集をすることにより、学習に主体的に取り組むことができる。 ・事前学習を通して、有意義な活動ができるよう、見学や体験への意識を高めさせる。 ・体験を通して望ましい職業観を身に付ける。 ・情報収集をする中で、適切なマナーやスキルを身に付ける。 ・見直しをもった行動ができるよう、あらかじめ考えさせる。 ・適切な視点をもって情報収集を行うことができるよう支援する。		職場体験で得た情報を整理・分析することで、課題解決に迫り、また個人課題への視点を獲得することができる。 ・地域の特性と職種の関連について、体験を基に考察する。 ・体験先で学んだ、地域への思いやこだわり、生き方に注目させる。 ・職業と地域という2つの視点を意識してまとめを進められるよう支援する。 ・聞き手に伝わる発表をするよう指導し、相互評価をさせる。 ・話し合いの中で、職業や地域について深く考え、個人課題のまとめにつなげる。		個人課題の追究を通して地域への理解を深め、自己の進路について考えることができる。 ・身に付けた知識を的確に伝える。 ・自分の考えを分かりやすく発表する技能を身に付ける。 ・地域と職業、進路について考え合わせ、自分の生き方や働き方について考える。 ・仲間の発表から、進路や生き方について新しい視点や考え方を感じられるよう支援する。	